

設立趣旨書

1. 趣旨

現在、人々が抱える様々な問題や悩み事に対する解決手段として、ソーシャルワークおよびソーシャルワーカーの機能が注目されています。例を挙げるならば、国が2010年に公表した「子ども・若者ビジョン」では学校内の相談先として、スクールカウンセラーとともにスクールソーシャルワーカーが例示されています。また広島市のように、福祉事務所や児童相談所等で相談援助業務に就く職員について、社会福祉卒を設け、ソーシャルワークを学んだ人の採用を開始している自治体も増えています。さらに障害者支援、高齢者支援、就労支援等の分野だけでなく、犯罪者の再犯防止に向けた相談支援や難病患者とその家族に対する支援、精神障害等による休職者の復職支援等でも、個人に対する治療論的なアプローチに加えて、人、家族、地域社会の関係性を視野に入れ実践を行うソーシャルワークの枠組みを用いたアプローチの必要性が認識され、導入されてきています。こうした動向は、対人援助の現場において、ソーシャルワークを用いた専門性の高い実践が行われること、またそれにより早期の問題解決が実現されることへの社会的な期待の表れと言えます。

当研究所の第一の目的は、こうした社会的な期待に応え、洗練された理論と特殊な技法を用いたソーシャルワーク実践を行い、相談者の早期の問題解決を目指すことにあります。対人援助の専門機関として一人でも多くの方の問題解決に貢献したいと考えています。

第二の目的は、実践と連動したソーシャルワーク支援方法論の研究です。複雑で多様な関係性からなる日常生活場面や、そこで展開されるメッセージの交流に対して、評定し介入するための理論と技法の体系化は臨床的なソーシャルワークの発展には不可欠です。研究により蓄積された知見は、個人や家族に対するマイクロ・メゾレベルのソーシャルワーク実践に有用だけでなく、社会的なマクロレベルの問題に対する解決手段の提案にも繋がると考えます。また、広く情報発信することで、ソーシャルワークに対する社会的な認知の深化にも貢献できると考えます。

第三の目的は、臨床力の高い実践者の育成です。現在、臨床的なソーシャルワークの援助方法論を学べる場所はごく限られています。一方、実践領域が広がり、社会的な期待も高まる中、“役に立つ”ソーシャルワーカーや対人援助の実践者の育成は緊急の課題となっています。当研究所では関係機関と連携し、専門職を目指す学生等の研修も行っています。

そして、地域の対人援助の実践者、関係機関との意見交換や情報交換を行い、お互いの現場に対する理解を深め、社会の適応上の諸問題への解決に役立つネットワークづくりにも貢献したいと考えています。

具体的には、

- ・ 個人・家族・地域社会を対象とした相談事業
- ・ 子ども・若者を対象としたソーシャルスキルトレーニング（SST）事業
- ・ ソーシャルワーク支援論の研究および研究結果の発信に関する事業
- ・ ソーシャルワークおよびソーシャルワーク支援論に関する情報提供と普及啓発活動
- ・ 臨床ソーシャルワーク実践者の育成事業
- ・ 地域の社会資源との連携・交流に関する事業

等を行っていきたいと考えています。

このような活動を継続して行い長期的に社会貢献していくためには、透明性のある公正な運営により社会的信用を得て、行政機関とも連携を図れることが必要であり、法人格の取得が適当と考えます。しかしながら、当研究所は営利を目的とはしておらず、会社法人の形式は不適當です。よって、特定非営利活動法人を設立することが望ましいと考えました。どうぞ皆様の幅広いご参加とご支援をお願いいたします。

2. 申請に至るまでの経過

当研究所の発起メンバーは、主に公的な教育相談の領域で子ども・家族・学校関係者を対象として、相談活動やソーシャルスキルトレーニングを行ってまいりました。その活動の中で、公的機関がカバーできない相談内容や対象年齢に対応できる専門の相談機関のニーズが高いことがわかり、実現する方法を模索し始めました。また、より多くの方に質の高いサービスを提供し続けるためには、それぞれの臨床の場で活躍している支援者が集い、自らの理論的基盤及び介入技術を向上していくためのサービスも不可欠と考えました。そこで、県立広島大学内に事務局を持つ HSSW(Hiroshima School of Social Work)研究会の皆様にご協力をお願いし、ソーシャルワーク支援論の研究と情報発信に関して、連携して活動を行えることとなりました。

平成 24 年 6 月 10 日に当研究所の趣旨に賛同してくださる方が集まり設立総会を開き、本日の申請に至りました。

平成 24 年 6 月 10 日

特定非営利活動法人 広島クリニカルソーシャルワーク研究所 ripple

設立代表者 中 みちる